

国語科	古典講読 シラバス	2 単位	普通科 第2学年 1.2.3.4 組
年間の到達目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、物の見方、感じ方、考え方を広げ、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。		
教科書・副教材等	高等学校標準古典講読物語選（第一学習社）新総合図説国語（東京書籍）全訳読解古典辞典（三省堂）		
学期月	学習内容	学習のねらい	
4	説話 ・「のちの千金の事」（宇治拾遺物語） ・「小式部内侍が大江山の歌の事」（古今著聞集）	・説話の意味を理解する。短い作品を読み、親しみを持たせ、内容のおもしろさを味わう。 ・登場人物の行動や心情を読み取り、理解する。	
5	物語（一） 「竹取物語」 ・帝の求婚 ・かぐや姫の昇天 「伊勢物語」 ・初冠 ・通ひ路の関守 ・小野の雪	・既知の物語の知らない求婚譚や最後を知ること、興味を持って内容の理解を深める。 ・作品中で、和歌の果たす役割について考え味わう。 ・人の心の関わり合いを読み取り、その深さを読み取る。	
中間	中間	上記の範囲 上記の教材	
6	故事・寓話 ・刻舟求剣 ・朝三暮四 ・推敲	・1年生で学習した訓読や書き下し文などの決まりの定着度を確認しながら故事成語の生まれた原典を知ること、その成り立ちや正しい使い方学ぶ。	
7	随筆 「徒然草」 ・公世の二位のせうとに ・相模守時頼の母は ・よるづのことは頼むべからず 「方丈記」 ・ゆく川のながれ 「枕草子」 ・中納言参り給ひて	・随筆の意味を理解し、随筆文学の特色を確認しながら作品を味わう。 ・登場人物の心情を読み取り、物語のおもしろさを味わう。 ・筆者の物の見方、考え方を読み取り、二人の筆者に共通する「無常観」について理解する。「ゆく川の流れ」はその無常観を理解するのに、その対比の繰り返しのわかりやすい文章を暗記することで更に理解を深めさせる。 ・1年時に学習した「枕草子」の復習をしながら、あらたな作品を読み、そのおもしろさを味わう。	
期末	期末	上記の範囲 上記の教材	
9	物語（二） 「平家物語」 ・忠度の都落ち 「大鏡」 ・弓争い ・三舟の才	・軍記物語の典型である「平家物語」を扱うことで、軍記物特有の言葉遣いを学ぶ。 ・有名な冒頭部分を暗記をして、軍記物の漢文調のリズムを体現し、他の文章との違いを理解する。 ・歴史的な人物について知る。	
10	日記 「紫式部日記」 ・日本紀の御局 「更級日記」 ・門出	・日記文学の文学的意味と位置を知る。 ・日記の文章の特徴を知り、本人しか分からないこと、他の作品から読み取れる人物像との違いなどを、感じ取る。 ・当時の「源氏物語」の人気のようなものが、作品を通じて理解する。	
11	和歌 「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」	・和歌の成り立ち、意味を知り、日本人の思いや考え方を知る。 ・和歌の修辞を確認しながら、歌を鑑賞する。（鑑賞の意味と態度を養う） ・実際に作歌してみるにより、自分の気持ちをどう表現できるか、試してみる。他の人の歌と比較、鑑賞して歌の理解を深める。	
12	諸家の思想 「荘子」 ・蝴蝶之夢 「韓非子」 ・刻削之道	・説話でやった荘子の「轍鮒の急」の思想に触れることで、当時の思想家の考え方を身近に感じる。 ・これも「矛盾」の思想を知るきっかけにしたい。	
学年末	学年末	上記の範囲 上記の教材 1年間の学習成績を総合して年間の成績とする	
評価の観点	内容	評価方法	
関心意欲態度	・授業中、興味・関心を持って臨んでいるか。 ・授業に対して積極的に参加しようとしているか。 ・熱心に取り組む姿勢が見られるか。	・授業に対する姿勢や態度 ・提出物の完成度と提出状況 ・ノート・プリント類などの課題の完成度と提出状況	
話す・聞く・能力	・自分の考えを的確にまとめて相手に伝えることができるか。 ・相手の話を真剣に聞き、相手の伝えたいことを的確につかめるか。 ・聞き書きが的確にできるか。	・授業中に指名された際の答え方 ・発表の際の説明の仕方 ・ノート・プリント類の課題の完成度 ・授業態度	
書く能力	・自分の考えを的確にまとめ、文章にすることができるか。 ・正しい日本語で文章を書くことができるか。	・ノート・プリント類などの課題の完成度 ・定期考査における説明・論述問題	
読む能力	・目的に応じて様々な文章を正しく読み、内容を読み取ることができるか。 ・正確な発音で美しく読むことができるか。	・教材の朗読 ・ノート・プリント類などの課題の完成度 ・定期考査	
知識理解	・学習した内容が正しく理解され、知識として身に付いているか	・定期考査 ・授業での小テスト ・ノート・プリント類等の課題の完成度	